

補助金等交付申請書

令和2年〇月〇日

飯山市長 足立正則 あて

申請者

所在地 飯山市大字飯山1110-1

団体名及び 〇〇〇〇

代表者氏名 飯山 太郎 印

補助金等の交付を受けたいので、飯山市補助金等交付規則第3条の規定により、次のとおり申請します。

記

1 補助年度	令和2年度	
2 補助金等の名称	飯山市農業施設堆積物対策事業補助金	
3 補助事業等	(1) 名称	飯山市農業施設堆積物対策事業
	(2) 目的	台風第19号の浸水被害によりほ場に流入し堆積した稲わら等の撤去等を行う。
	(3) 概要	浸水被害による堆積物の搬出及び散らし作業 対象面積:3,000㎡
	(4) 着手及び完了	着手 令和2年4月5日
	予定年月日	完了 令和2年4月5日
4 補助金等交付申請額	55,000 円	
5 事業完了前の交付希望	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
P (添付する書類の□欄をチェック (<input checked="" type="checkbox"/>)してください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書(総会議案可) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付申請額算出調書 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業等に要する経費等の算出内訳書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業予算書(総会議案可) <input type="checkbox"/> 前年度実績報告書(総会議案可) <input type="checkbox"/> 実施設計書(建設事業の場合) <input type="checkbox"/> 完納証明書等(ただし、5万円未満は省略可) <input checked="" type="checkbox"/> その他(見積書、位置図、個人情報閲覧の同意書)	

補助対象経費の80%を記入
ただし、1反歩(1,000㎡)あたり2万
円が上限
(例:面積が3反歩であった場合 2
万円×3反歩=上限6万円)

交付申請書に事業の見積書、位置図(地図等に作業箇所を印した
もの)、個人情報の閲覧に関する同意書を添付

事業(計画・実績)書

設立年月日	昭和・平成・令和 ○○年 ○月 ○日
申請者の営む 主な事業	水稻の生産及び販売
補助事業等の 内容	<p>作業日:令和2年4月5日(1日間) 方法:堆積物を重機を使い搬出及び散らし作業を5名で行う。 使用重機:バックホー(0.1m³)1台、クローラー(1t積)1台、ダンプ(2t)1台 対象面積:3,000m²</p> <p>予定を記入して下さい 作業日、方法、使用重機など</p>
補助事業等実施 による効果	被害のあった農地の復旧
備考	

注1 事業計画もしくは実績が明記されている総会議案等でも可とする。

2 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。

3 備品購入の場合(当該備品の購入が補助の対象となっている場合に限る。)はその品名規格形状及び数量を記載し、実績報告の場合は、写真を貼付すること。

補助金等交付申請額算出調書(計画・実績)

見積書の内訳と同様に記入
単価、数量などがある場合
は記入する(税込)

自己資金や、市の補助金以外で収入
がある場合には、その金額を記入

補助対象経費(D)の80%
の金額を記入

補助基準により算出した額が、限度額の1反歩(1,000
㎡)あたり2万円を超える場合は限度額を記入
超えない場合は、補助基準により算出した額の千円未
満切り捨ての額を記入

区 分	補助事業等に要する経費			補助事業等 に関して生 ずる寄付金 その他の収 入	差引所要額 (A-B)	補助対象経費	補助基準に より算出し た額	補助基本額	補助金等 交付申請額	補助 比率 (G/F)	備 考
	単 価	数 量	金 額								
			A	B	C	D	E	F	G	H	
	円		円	円	円	円	円	円	円	円	
農業施設堆積 物対策事業	69,600	一式	69,600	0	69,600	69,600	55,680	69,600	55,000	0.79	
合 計			69,600	0	69,600	69,600		69,600	55,000	0.79	

注1 「区分」欄には、細分化された項目等当該補助事業等において区分すべきこととされている事項を記載すること。

2 「補助事業等に要する経費」欄には、当該補助事業等に係る経費の総額を記載するものとし、「単価」「数量」欄が不要のときは斜線で抹消すること。

3 「補助事業等に関して生ずる寄付金その他の収入」欄には、補助基本額の算出に当たり寄付金その他の収入を控除すべきこととされている補助金等の交付を申請する場合に使用すること。

4 「補助対象経費」欄には、当該補助事業等のうち補助の対象となる部分に限る経費の額を記載すること。

5 「補助基準により算出した額」欄には、補助基準(額)が定められているときはその基準により算出した額を記載し、補助基準が定められていないときは斜線で抹消すること。

6 「補助基本額」欄には、当該補助金等の算出の基礎となるべき額を記載すること。

記入例

補助事業等に要する経費等の算出内訳書

補助事業等に要する経費			補助基準により算出した額		
区分	算出基礎	金額	区分	算出基礎	金額
重機借上代	バックホー:11,200円×1日 クローラー :10,100円×1日 ダンプ :10,900円×1日	32,200円	重機借上代	32200円×80%=8960円	25,760円
運搬経費	8,600円×2台(バックホー、クローラー)×2往復=32,000	34,400円	運搬経費	34,400円×80%=27,520円	27,520円
燃料代	100円×30ℓ=3,000円	3,000円	燃料代	100円×30ℓ=3,000円 3,000円×80%=2,400円	2,400円
合計		69,600円	合計		55,680円

補助対象経費の80%の金額を記入

令和2年度 事業(予算書)・決算書

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減	適用(内容)
自己資金 (〇〇〇〇)	14,600			
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;"> 自己資金、市の補助金以外で収入がある場合には、その金額も記入 </div>				
市補助金	55,000			
計	69,600			

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減	適用(内容)	うち補助対象外経費
重機借上代	32,200			バックホー、クローラー、ダンプ	
運搬経費	34,400			2台×2往復分	
燃料代	3,000			軽油	
計	69,600				

	予算額	決算額	比較増減
収入総額	69,600		
支出総額	69,600		
差引残高(繰越金)			